

憲法しんぶん 速報版
 発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)
 Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2018年3月6日 (火)
 NO. 839号 本号3頁

憲法会議 第53回全国総会開催

一憲法会議の役割を發揮し、 3000万人署名を成功させ、安倍9条改憲阻止を一

憲法会議は4日、全国教育文化会館で第53回全国総会を開催しました。安倍9条改憲阻止、戦争法・共謀罪法の廃止、安倍政権打倒をめざし、憲法を守り生かす憲法運動と「共同」の発展に向けてたたかう方針を確立しました。

開会あいさつで石山久男代表幹事は、「自民党は憲法改正案を3月25日の党大会までまとめようと動きを強めている。憲法会議の存続をかけて3000万人署名を成功させ、世論を変え、何としても阻止しよう」と述べました。

方針案を提案した高橋信一事務局長は、安倍9条改憲阻止に向けて、全国各地で憲法会議が奮闘していると強調し、①安倍9条改憲阻止に向けて、3000万人署名に全力で取り組もう、②憲法の値打ちを学びたかいに生かす「憲法学習大運動」の推進を、③共同の前進で暴走政治をすすめる安倍打倒を、③憲法会議53年の歴史の教訓を踏まえ、さらに組織の強化に取り組もうと訴えました。

それを受け、各地・団体の代表が発言・交流しました。3000万人署名のとりくみでは、「毎週100軒ほど、1週間前に署名とチラシを届け1週間後に訪問し、お話を聞き、署名を集めている」(松本)、「岬町では全世帯数の6000枚のチラシを作成し、全町民を対象に署名活動している」(大阪)、「全戸配布の署名付きピラを30万枚作成し、署名を呼びかけている」(和歌山)等と、全市民を対象としたとりくみが各地から報告されました。



また、「参院選、知事選、衆院選と、市民の共同、市民と野党の共闘でたたかってきたが、その共同、共闘で3000万人署名に取り組んでいる」(新潟)等と、共闘が発展し、その共闘の力で3000万人署名がとりくまれているとの報告がありました。

さらに、「憲法学習の積み重ねが、今の行動の力となっている」(大阪)、「全組合員が署名に立ち上がるため、学習を大切にしている」(全労連)、「会員の関心と興味を大切に憲法カフェを全国各地で開催している」(新日本婦人の会)等と、憲法学習運動の重要性が語り合われました。

討論を受けて、高橋事務局長がまとめを行い、参加者の拍手で2018年度活動方針が採択されました。さらに、新しい第53回総会期役員を選出し、体制を確立しました。

春の憲法講座開催!

安倍9条改憲阻止に向けて、しっかりと学び合う!

総会前の午前には「春の憲法講座」が約130人の参加で開催され、穀田恵二日本共産党国会対策委員長・衆院議員が「国会報告」を行い、愛敬浩二名古屋大学大学院法学研究科教授が講演しました。

穀田氏は、今、安倍政権の土台を揺るがす大問題が明らかになり、大激動が起こっていると話しました。初めに、森友疑惑問題での財務省の契約書改ざん問題をあげ、「特例的」「本件の特殊

性」等の文字が消され、書き換えられていたことが分かった。これは背後に誰かがいたことを示すものだと指摘。また、「働き方改革」問題で、ずさんなデータが明らかとなり、労働者・国民が反対の声を上げるなかで、労働裁量性法案を取り下げたが、過労死を防止させるためにも高度プロフェッショナル制度(残業代0法)の導入などの悪法を撤回させなければならいと訴えました。さらに、先の衆院選挙での市民と野党の共闘の奮闘に触れた後、安倍9条改憲について衆院憲法審査会のイタリヤ・イギリス等の憲法と国民投票の視察で、両国の関係者から「誰かのための憲法改正であってはならない」と指摘されたことを紹介し、改憲発議できないよう世論と運動を起こそうと呼びかけました。

愛敬氏は、「安倍9条改憲は何をもたらすのか」とのテーマで講演されました。「はじめに—この講演で考えたいこと」として、①安保法制成立後の「現状」を変更しない9条改憲は可能か?②政府が「専守防衛」政策を堅持する以上、「現状」を追認しても大丈夫か?③国民投票の実施を視野に入れてどのような姿勢で「改憲論議」に挑むべきか?の3点をあげました。

そして、次の5項目について話しました。

- A 問題①—安倍流「9条加憲」論は現状肯定のための改憲論か?
- B 「7・1閣議決定」による変更の前の政府見解(旧解釈)
- C 問題②—「小国主義」解体後の「専守防衛」に期待できるのか?
- D 9条改憲の是非に関する真の論点—「世界の警察」であろうと欲望する主権国家の劣位の「同盟国」
- E 「改憲論議」の作法—国民投票実施も視野に入れて
- F 9条はなぜ大切か?—自分の言葉で客観的に語る



○詳しくは、月刊憲法運動4・5月合併号に掲載されますので、お読みください。

<感想の紹介>

- 「ただ反対するだけでなく、否決された後の夢を語る」 自分にとって、9条の大切な理由を持ち、語ることの大切さを提起して頂いて良かったと思います。考えていきたいし、まわりの人と話したいと思います。(鳥取・女性)
- 9条改憲阻止の3000万人署名にとりくんでいますが、講義の中で最後に語られた、憲法改憲を自分の言葉で語るという提案には目からウロコが落ちたように心おどるものを感じました。戦争させない9条は改憲させない、そして、もっと憲法を身近なものにしていく、夢のある講座をありがとうございました。(都内・女性)
- 対話の仕方を具体的に教授いただき、大変参考になりました。これから自信を持って市民の中に入って行こうと思います。(栃木・男性)

各地のとらつき

兵庫 「2018 5・3兵庫憲法集会つれ集会」を開催

憲法改悪ストップ兵庫県共同センター、自治労や兵教組などをつくる「戦争させない1000人委員会・ひょうご」、9条の心ネットワークが共同する「戦争させない、9条壊すな!5・3総がかり行動兵庫県委員会」は1日、「2018 5・3兵庫憲法集会プレ集会」を神戸市内で開き、350人が参加しました。

内田樹神戸女学院大学教授が講演。「日本は徹底的に対米従属」だとして、米軍基地を撤去したフィリピンや縮小した韓国と比べても、「日本だけが国益を優先せず、アメリカの国益を優先している」と指摘しました。

米国は一枚岩ではなくメディアは日本の改憲に大反対で、日本の周辺国をはじめ世界は全て日本の改憲に反対だと強調。安倍政権が「働き方改革」法案から労働裁量性削除に追い込まれた事も挙げて潮目が変わりうるとして、「何が起こるかかわからない。目標は高く、できることからこつこつと、3000万人署名をやっていきましょう」と述べました。

9条の心ネットワークの羽柴修弁護士があいさつし、自治労県本部の森哲二氏が方針提起。それぞれ5・3集会と3000万人署名の成功を訴えました。

待望の川村俊夫著の新刊販売へ

「戦争する国」への道 安倍九条改憲NO!

- 第一章 **安倍九条改憲の危険なねらい**
 - 一 安倍九条改憲論の本音
 - 二 戦争法施行の前に立ちふさがった九条の壁
 - 三 安倍首相の九条改憲への異常な執念
 - 四 「積極的平和主義」のカクレミノ
- 第二章 **日本国憲法九条はこうして生まれた**
 - 一 憲法九条の日本政府案発表まで
 - 二 帝国議会における政府案と政府案の修正
- 第三章 **九条と日米安保のせめぎ合いの七〇年**
 - 一 九条改憲への道を開いたアメリカの冷戦戦略
 - 二 日本の再軍備を前提にした講和
 - 三 対米従属の枠はめた「平和条約」と安保条約
 - 四 日米軍事同盟の強化と九条破壊の進行
 - 五 冷戦終結と同時に始まった自衛隊の海外派兵
- 第四章 **九条めぐると決を軸に展開されてきた戦後日本政治——中間的まとめとして**
- 第五章 **戦争違法化の世界の流れのなかで**
 - 一 資本主義の展開と戦争
 - 二 戦争違法化を打ち出した国際連盟
 - 三 「自衛権」が最大の論点となった不戦条約
 - 四 戦争違法化の徹底めざした国際連合
 - 五 平和をめざす各国憲法と地域の共同
- 第六章 **憲法九条が生きる日本を**

川村俊夫 著

日本が戦争違法化の先端をいく日本国憲法九条を守り抜くことは、世界史的意義を持つこととなります。それこそ日本が行うことができる最大の国際貢献です。そのためにも安倍九条改憲をなんとしても阻止しなければなりません。(本文より)

●定価：1400円(税別) ●A5判 縦型 1/6頁 ●ISBN 978-4-7807-1575-7 C0021

※憲法会議扱い 1～4冊1,400円、5～9冊1,300円、10冊以上1,200円(送料別)

【注文者・送付先】

お名前(団体名)
ご住所 〒.....
Tel. fax Eメール

【ご注文欄】※価格は送料別 () に注文数をご記入ください
・「戦争する国」への道 安倍九条改憲NO! () 冊

【申し込み先】⇒憲法会議 Tel: 03-3261-9007 fax: 03-3261-5453
Eメール: mail@kenpoukaigi.gr.jp
住所: 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 神保町マンション202